今月の模範作品

筆ペン

場 問 ١, ぜひお立ち寄りください。約四00品目を販売します。生鮮食品やお弁当、冷蔵食品 合 わ ★交通状況により時間が前後する場合 让世先 荒天により休業する場合があります。 毎週金曜日、午後一時~三時十月三日から十二月二十六日までの やまびこ広場 梅里村総務課 (七八一一二三四) 日用品など 伊奈敬井坂

井坂 由美 余白を活かした構成が見 事。字形も美しく、速度と筆圧のリズムが心 地よい。気韻生動の作。 評 江口 春陽

ボールペン

書が絵画と違うところは、直接自然界を素材にし 一連奏 得ないことと、常に文字という実用性を背負わされ ていることである。従って、書がこの本性を忘れて、 分化と抽象を続けて独立性を獲得しようとする ならば、それは一つの邪道と言わざるを得ない。

柔軟性のある線質による優 雅で洗練された字形で整然とまとめあげてい る。実力を十分に発揮した模範的横書き作品で ある。 評

11月提出競書作品の写真版作品は、 11月20日よりホームページに掲載されます。

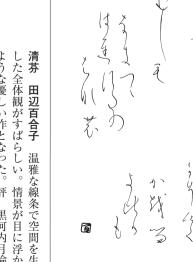
生 种 穉 右 首 大 銅 臣 鸣 四 /三 面 E

墨横浜溪塘雪渡"辺"行势

太細の変化も見事である。 捉え、字形よく締まり品致 横浜 渡辺伊勢子 原帖の 字形よく締まり品致の高い作品となった。線の 原帖の微妙にうねる書線を的確に 福原 溪春

陏 意 題

つけペン



墨清芬婆姆圖田"迎"有"合。

した全体観がすばらしい。情景が目に浮かぶ 温雅な線条で空間を生 黒河内月倫

今月の秀逸作品

傾

家

持

竟

る秀逸作。

(奈良

孝嬉

紅彣

北尾虎汰朗

配字のバランスが

红

彣

段 氏名图

尾

虎

汰

朝

專一級

立一学のこといとの

とする道すがら芋の

良く、丁寧に書かれている安定感があ

規定課題・随意課題

お

9

づかり

歩みは

木蓮 持てる。

酒井

直美

素直な書きぶりで好感が

迫力ある力強い作品となった。

)内は選評執筆者です。

蛍光 抜群の作。 悠然とした表現に心奪われる。 咲帆

点画に緩みなく安定感

宮を返われ、海からも放逐されるとに とろがちまと りをさまらいがけております たずりは来りたくしはら た過ちのため 薍)误 洲

Ŧ

7

教

五

段 氏 名 (楷書)

平

田

垂

3

(黒河内月倫

规 時 材 木の 3: ζ 鯯 置 家 場が見るる。 鴨が 乙島が カヾ あり 5 、と鳴く 力車の育せる と腹を返 希

\ 7

チヨ バランスも良い。 上手に表現したメリハリのある作品。余白の 平田亜希子 文字の大小、 (御園生藍珠 線の強弱を

遇 Z 研究する to 谰 7 祐 カロ 2 報 唱さ 後藤 祐加 張りのある清澄な線が魅力。遅速の

書学 変化が加わると更に美しさが増す。 (江口 春陽)

晚 eg1 倫 ユ 吾 亦 紅 どん 葯 开分 11

3580060

八間市河原町

岩

屋

大輔

様

所汉市並木

3591161

髙

木

ランスのよく取れたまとめ方も見事である。

大井 天方

容子

繊細な線質で切れ味鋭く書けている。

(森

嶺雲)

また、バ

F

教室

並

木さお

1)

6 級

長

峯

爱 亮

大

井

段 天名(

夭

方

容

3

6

哥

駐

ニス 孝嬉

> フジ った。 リとした読み易い手紙文とな 白の使い方が上手で、スッキ 峯 (御園生藍珠 全体の余

一九六四年東京オリンピックの用会式

秋を満喫したいと思います 記念した、我日との事ですスポーツ

二〇二〇年に体育の日がスポーツの日と 一称が改められ馴染んで参りました

勾玉作り

石をけずって古代のアクセサリー 勾玉"を作ってみませんか

10月5日(日) 午前9:30~11:45

公民館工作室 40名(参加貴無料)

エプロン、手拭きタオル いわき市 生涯学習課 (電話22-3456)

製造品 のは液部 順子単/の

温品 掲示文として目を引く、 作品である。 渡部 順子 存在感があり、 奈良 筆力確かな

専攻コース 在中 贈 生 生种贈 碑生神贈 生神贈 右大臣、 ソス 奉通 右 奉通 右 シス 大 大臣 大臣 敕書是其原力 臣 從 製四面 後一位 鸣雀 鸣 127 13 隺 雇日下 TO 面 셛 大 面 日 曰 大 原 F 原 鎸 下 鎸 X 部 字本部 部保 本 保 保 也先 也先公 也先 震福南蹇·雅·海·礼·子· 第青山八喝福本 直美 · 景岡村覧機 1, 1萬 7理 1真 8子 ■ 憂書学☆風電で木 *村 * か *お でり 碑生神贈 碑 生 神 贈 生神贈 屛 碑 生神贈 右 奉通 奉道 右 右 道 右 适 大臣 銅 銅 碑 臣役一 敕 銅 臣 臣 本書 是其原本也一鸣催日下部先 書鳴 程一 鸣 四面隽 100 是雇 是 /五 四 催 /运 隺 位 面 面 其 其原 日 (其原 大 日 大 下 原 鎸 又 下 久 部 本部 保 本 保 部保 也先公 先 Ł 先 [加名樂經過土 田 真 春·末 · 泉樹如為 出 井 、 泉 樹 田 公津会建学村 王 華 碑 神 腫 生神贈 生 碑 生神 贈 生种贈 碑 右 奉道 右 奉道 右 *ツ*ス 右 火人 遁 遁 銅 大 臣 臣 豆 臣 敕書是其原本 鸣 徔 書是其原 鸣 書 鸣 鸣 書是其原 TIST 四 四 四 ~程日 是其原本 雇日下 雇口 冱 面 往 往 面 面 面 F 部 部 保 保 先 希望歌风桑原 門八雲學歷後 藤 佐 代 子

碑以銅製四面鏡字生奉 敕書是其原本也神道碑鳴准日下部先贈右大臣後一位大久保公

11-2七日 桐原 和校

碑以銅製四面銭字 整書 是其原本也神道碑唱崔日下部先由神道碑唱崔日下部先由

群以銅製四面鐫字生奉 敢書是其原本也 神道碑 鸣雀日下部 先贈 在大臣後一位大久保公智

神 生 貝曽 奉 适 右 臣 後一 書是其原 鸣 霍日 12) 位 面 大 下 久 部 本 保 豊水仙戦験量®原 油 たいか・子

なりました。それが来、わたくして、る 官を追われ、海からと放逐されることに回 達りをさまらいでけております。 くろがちょうとした過ちのため就 とりをするらいでけております。 なりました。それい来、わたくしょう 宮を追われ、海からも放逐されるとに くろがちまとした過ちのため、記 碑以銅 生奉 敕書是其原本也 神月 生种 贈右大臣後一位大久保 碑 右大臣後一位大久保公 奉 敕書是其原本也 以銅製 道 道碑 鸣霍日下部先 碑鳴星日下部先 製 四面鐫字 四面 鎸字 生奉 教書是其原本也神道碑鳴宿上臣後一位大久保公 なりました。それら来、わたくしはら 宮を追われ、海からも放逐されることに 碑 達りをさまらいでけております。 そろが、ちちとした過ちのため、能 生奉 敕書是其原本也 神 贈 とりをさまらいがけております なりました。それは来、わたくしはころ 宮を追われるからも放逐されるとに とうか、ちまとした過ちのため、記 碑以銅製四面幾字 右大臣 後一位大久保公 右大臣後一位大久保公 以銅製 四面勢字 道碑 鸣霍日下部先 宮を追われ、海からも放逐されることに なって、それは、わたくしはら 宮を追われるからと放逐されることに なりましたうれる素わなりしはる とりをさまいずけております とろが、ちょとした過ちのため、総 くろがちまとした過ちのため きりとてまくいけております 神月 生奉 敕書是其原本也神 道碑鳴宿日下部先 生奉 敕書是其原本也 賏會 碑以銅製 四面幾字 碑以銅製四面幾字 右大臣後一位大久保 右大臣後一位大久保 道碑 鳴雀日下部先 韬 公 宮を追われ、海からも放逐されるとに 網 生奉 教書是其原本也 なりました。それら来、わたくしはころ なってそれが来、わたくしはら 宮を追われ、海からも放逐されることに とろがちちとした過ちのため就 碑以銅製四面幾字 神道碑鳴雀日下部先 邊りをとろいかけております 贈右大臣後一位大久保 神 贈右大臣後一位大久保公 虚りをとうよいでけております。 生奉 敕書是其原本也 碑以銅製 道碑 鳴霍日下部先 四 面錫、

賣傾

月作

竟傾

歲持

月作

駛樂

14 家

とまる道すがら芋の おのづから歩みは 立業のことごとの一震

皇りをともらいでけております なりました。それい来りたくしはいか 宮を追われ、海からも放逐されることに そろがちちゃ した過ちのため就 達りとさませてけております。 施電を追われぬからも放逐されるとは、 高本地である。 一個本地である。 とうがちまとした過ちのため、続

竟 傾 竟 傾 此家 JH 家 住野 持 歳 15 A 作 梢 駛樂 駛樂

お とまろ道すがら芋の 立葉のことごとの感 のづから歩みは 日本 木

きりをさかよいがけております。 なりました。それる果、わたりは 宮を追われ、海からな放逐されることに そろがちちろ た過ちのため、就

宮を見われ、海からも放逐されることに なまった。それいまりたくしはら とうが、ちまとした過ちのため、龍 逢りをすますいつけております。

和同日伊藤綾音 竟 傾 傾 刻 此家 14 嵅 持 持 B 佑 月作 駛樂 駛樂

立葉のことごとの震 とまる道すがら芋の お のづから 安み

ところが、ちょとした過ちのため、 なりました。それらま、わたくしはの 宮を追われ、海からも放過されるとに とりをさまとついけております

宮を追われ海からも放逐されることに なっまった。それりまりたくしは とうろが、ちょうとした過ちのため とてならいでけております 褦

竟傾 亴 傾 照城田 味華菜 〇日 家 家 歲持 渽 持 173 月 作 駛樂 駛樂

古谷日縣無田 三葉のことごとの露 とまる道すがらせての お のづから歩みは 遣りをさるようつがけております なりましたぞれいまりたくしはころ 宮を退われ、海からも放逐されることに そろがちまとした過ちのため、能

なりましたされい来わたくしは、あ 宮を追われ、海からも放逐されることに とろがちまとした過ちのため就 達りをとまるいでけております。

今月の優秀作品

飛ぶ: 時で聞きる。己島がちてと腹を返して 村木の置場が見るる。 墨美 家鴨ががあくと鳴く Б. **股** 氏 名 (析像) 西 L 人力車の音でえ 褶 3

時へ 材 飛ぶ。 ホ 闻 Ö 置場が見るる。 ₹ 3. 家 鴨ががあくと鳴く 乙島がちろと腹を返 人力車の音さる

書 学业 19 段 氏 名 (附書) 岡 本 真 美

лK

差 Ĵ:

数定

四

段 氏 名 (核音)

本公 倉

由

纪

3

飛 3. 12 家鴨ががあくと鳴く 三 長名(附書) J, 由 美

溡

て聞るる。乙島がちと腹を返

材本の置場が見るる。

人力車の音さる

時~開 飛ぶ 村木の置場が見える。 甜 16 える。 家鴨ががあくと鳴く 段 氏 名 (報書) 乙鳥がちと腹を返 野丹花 人力車の音さえ 理

材 飛 木の 3; 麒 阐 家鴨が 置場が見える。 える。己鳥がちくと腹を返 があくと鳴 **段** 氏 名 斉 藤 人力車の音さる 実千代

時~聞 材木の 飛ぶ。 出 置場が見える。人力車の音さえ 3 お鴨ががあくと鳴く。 初 **段** 次 次 (新術) 乙島がちくと腹を返 櫻 # 雅 3

> 飛ぶ. 材 時に聞える。乙島がちと腹を返 時 材木の置場が見る人力車の高さえ 飛 柏 木の . 西 鯯 置 家場があると鳴く 家鴨ががあくと鳴 23. 一場が見 3 乙鳥がちと腹を返 **段** 氏 名 える。 徳 田 4 カ車の音さる 恵 3

時~ 飛 村 春 木の置場が見える 3. 团 聞える。 家鴨が Ξ 乙島がちてと腹を返 段 氏 名 (精香) があくと鳴く 萩 原 人力車の音せてる Ł 重

佳

風

Ξ

段 氏 名 (精書)

平

L

智

佳

香 飛ぶ 溡 村木の置場が見るる 港 闻 家鴨ががあくと鳴く 3 二段新林 乙島がちくと腹を返 人力車の音さる 美莉

溡 村 飛 1 木の置 . کَ 葉 闡 3. 家鴨が 場が見える。 初 **段** 氏 全 (新書) 乙島がちてと腹を返 があく 高 橋 人力車の育なる ~ と鳴く ゃ か、

時~ Ħ 雅 幸丘 木の置場が見える。 3-闒 気鳴があくと鳴く そろ。乙島がちくと腹を返 初 来 枢 人力車の奇さる 岩 7

> 飛ぶ 香 時へ聞える、己島がちくと腹を返して 材 桜 本の置場が見える。人力車の音さる 家鴨があくと鳴く 3 段 氏 名 (物件) 4 旅 彼 3

脖~ 材 時~ 材 飛ぶ。 筑紫 雅. 木の 木の置 聞きる。こ島がちと腹を返して 鯯 教室 置場が見るる。 家鴨があくと鳴く。 1273. 家鴨ががあく 場が見える **段** 氏 名 乙島がちくと腹を返 白 Z 人力車の音さる 人力車の音さる 、と鳴く めぐみ

腈~ 郷ぶ。 村 春 ホの 日 鯯 置 家鴨ががあくと鳴く。 える。 場 **段** 氏 名 (栖書) 乙鳥がちくと腹を返 見える。 安 生 人力車の青さる 惠 朋

飛ぶ。 村 時、開言了. . 木の 阪 置 家鴨が 場が見える 初 乙鳥がちくと腹を返 段 氏 名 (報書) りヾ あくと鳴く تح 囡 人力車の音 村 真 弓 ナンス

時~ 材木の置 飛 令 ١;٠ 五 聞きる、こ鳥がちと腹を返 家 場が見える 鴨ががあく 初 大 橋 人力車の音さる 敦

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

泉の※※ 佐々木優韻 2 ※第25

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

書学 # # # # 村田明美 3 # #####

過去を研究することによって将来の見通しを立てる.

本田 ※ ※ 塩 坂 亜 樹 基 3 ※ 電影

 過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

工从** ■ 数 男 安 夜 / ■ 胃艾

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 特来の見通しを立てる。

<u> 過去を研究することによって</u> 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。 千間*** *** # 選 子 ~******

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

晩 ・ツシュ 秋 吾 亦 \triangle 紅 どんぐり 菊 亷 J 7 开分

瞬 7 学** 秋 吾 ル 亦 4 藤 紅 ۲" 菊 んぐ 形 1

晚 Z 秋 吾 11 1 亦 佐々木 紅 菊 裕 香 开分

7

シュ

ル

L

どん

く

紅彣

\ \

田

香

67 N

晚

秋

吾

亦

红

蔚

开分

マッシュ 大 マッ 腑 瞬 楠 阪 秋 秋 吾 ル 吾 ル 1 亦 亦 4 西 L 紅 71 紅 内 茂 と" 蔚 菊 んぐ 开分 开多 1)

腑 秋 吾 亦 紅 林 菊 成 年 开分

晩 7 秋 吾 亦 1 4 紅 林 ۲ 帮 佳 K 럛 形

1

松平少工 晚 秋 吾 ル 大久保 奈々美 亦 1 红 どん 蔚 形

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

₩ 天野 曆 4 # ###

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

☆ 須金来愛 / ● 胃毒

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。

岩田純子 5 編 4 2 2

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる.

■ 『 永井 智依世 5 # ###

過去を研究することによって 将来の見诵しを立てる。

容弘※※

過去を研究することによって 将来の見通しを立てる。 **88** 代 1/ 1/2 直代 5 # 響

過去を研究することによって 将来の見通しを定てる.

■ 工藤吏香子 5 ■ 曹弘

フッ

1/1

11

4

Ľ.

W

ζ"

()

マッシュ

1

どんぐ

晚

秋

吾

亦

红

菊

形

晚

秋

吾

亦

紅工

菊

若

松

田

中

裕

子

9

光秀**

段 氏名 (指書)

鈴

木

マッシュ

ル

1

L

どんぐり

7

シュ・

ル

1

4

どん

晚

秋

吾

亦

红

莂

形

晚

秋

吾

亦

幺工

葯

ゆぎ

東北里

囧

村

佳

恵

/ D

美郷

)1)

幸

/ 0 級 出品券 をはる

今月の優秀作品

晚 載 7 ッシ 秋 月 吾 ユ 11 亦 荻 紅 4 原, 2 菊 直 んぐ 樹 形 1)

腑 吉 マッシュ 秋 吾 ル 大 塚大蔵 8 級 出品券 开分

亦 紅 劳 香 7 晚 港 秋

ル 段 (精書) 1 古 4 南 どんぐ 慶子 8 報 出品券をはる ()

开乡

マッ

ル

1

豐中数

長機

井

裕

子

8

晚

秋

吾

亦

紅

勒

形

千ヨ 晚 マッシュ 秋 吾 11 吾 1 亦 亦 河 紅 红 内 Z' 菊 敦 菊 h 子 形 7 11

睁

秋

吾

亦

XI

菊

形

7

ッシュ

11

 \geq

んく

如

月

井 4

上

祐

美

子

7

マッシュ・ 晚 埼 玉 秋 吾 段 氏 名 (報書) 亦 1 荒 紅 井 どん 菊 起 べくり 基 級 出品券 をはる 形

美

水

飯

塚

良

子

形

V

. !

ル

1

2

2

W

<``

()

晚

秋

吾

亦

紅

菊

形

青 マッ 晚 葉 シュ 吾亦 段 氏 名 (楷書) 鈴 4 紅 木美奈子 菊 9 形 1)

書学

/)、

形

久美子

9

マッシュ

ル

1

どんぐ

桑文*

段 氏 名

大

西

富

3

晚

秋

吾

亦

紅

菊

形

マッ

ールーム

どんぐ

晚

秋

吾亦

紅

菊

珀免 7 永 ッ ・ ノュ 岳 秋 吾 段 氏 名 (情音) 1 亦 田 红 部 貴 どんぐ 菊 輝

喜久枝 **多級** 出品券 をはる () 形 福 晚 マッ 岡 秋 シュ 吾 11 段 氏 名 (新書) 亦 1 宮 4 红 下 どん () 菊 ず 4 形 10 1) 級

晚 マッシュ 月 秋 吾 ル 1 亦 4 田 紅 九 どんぐ 芸 久江 开分

耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至不增不減是故空中无色无受想行識无眼具色色即是空空即是色受想行識无限異色色即是空空即是色受想行識么復如觀自在菩薩行深般若波羅塞多時贬見五

觀自在菩薩行深般若波羅塞多時近見摩訶般若波羅塞多心経

摩訶般若波羅蜜多心經

摩訶般若波羅蜜多心經

觀自在菩薩行深般若波羅蜜多時服見五

異色色即是空空即是色受想行識么沒如 益皆空度一切者 尼舎利子色不異空空不

星凝

想究竟沒無三世諸佛依般若沒羅蜜多故

想究竟涅般三世諸佛依般若波羅蜜多故

本

碳无里礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢

所得故菩提薩塘依般若波羅蜜多故心无 |无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至 不增不減是故空中无色无受想行識无眼 是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不净 異色色即是空空即是色受想行識亦復如 蘊皆空度一切者厄舍利子色不異空空不観自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見五

亦无老死盡无当集滅道无智亦无得以无

クラウザー

章悠

无里嚴故无有恐怖速離一切顛倒夢

聖

所得故菩提隆 強依般若波雕塞多故心无 之无老死盡无告集滅道无智之无得以无无意識界无无明之 无无明盡乃至无老死

起觀有觀 世缘世 包 苗 佛音延 南 命十 暮法 不 願 口萬卷寫經發願成就 成 念僧要 觀緣佛 離 Æ 就 اك[،] 句 世常与観音樂佛音 濱 (2) **给找有** 愉 经 子数 念净因 後朝与 写 心念佛

起観有観

念世縁世 音 佛音延

不暮法南命

+

句

離念僧無

心観縁佛

世常与観

音楽佛音

念我有经

念淨因

従朝与 心念佛

起觀有觀

念世緣世

念音佛音延

不善法南命 離念僧無十

心觀緣佛句

世常与觀

音樂佛音

念我有经

念净因

從朝与

心念佛

起觀有觀

念世緣世

念

為

N 願

成

就

為

,S

願

滅 团

就

為

as:

頋 成

就

ij,

田

美恵

数馬

小山田美恵

島

由

美

3

数寫

田島由美子

新

仔

昭

3

敬

新保

昭子 写

濱田

愉子

山﨑

安部

觀自在苦華行家をいると 想究竟涅槃三世諸佛依般若波羅蜜多故 所得故菩提薩塘依般若波羅蜜多故心 亦 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至 不增不減是故空中无色无受想行識无眼是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不净 異色色即是空空即是色受想行識亦復 總旨空度一切苦厄舎利子色不異空空不 礙无置礙故无有恐怖遠難一切顛倒 无老死盡无苦集滅道无智亦无得以无 意識界无无明亦无无明盡乃至无老死 自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見 夢

听得故菩提薩堪依般若波羅蜜多故心方亦无老死盡无苦集滅道无智亦元得以不 无意識男无无明亦无无明盡乃至无老死 不增不減是故空中无色无受想行識无眼 是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不净 異色色即是空空即是色受想行識亦復如 為皆空度一切 老尼舍利子色不異空空不 親自在菩薩行深般若波羅塞多時照見摩訶般若波羅塞多心経 ·鼻舌身意无色齊香味觸法无眼界乃至 究竟涅 凝无里 一縣三世諸佛依般若波羅蜜多故 一殿故无有恐怖速離一切顛倒夢

> 觀白在苦薩行深報若 經

玉園

想究竟沒 所得故菩提薩恤依般若波羅蜜多故心无 之无老死盡无告集滅道无智之无得以无 无意識界无无明之无无明盡乃至无老死 不增不减是故空中无色无受想行識无眼是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不净 異色色即是空空即是色受想行識么沒 異色色即是空空即是色受想行識之沒如蘊皆空度一切苦厄舎利子色不異空空不 月鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至 嚴无置礙故无有恐怖遠離一切顛倒 自在菩薩行深般若波羅蜜多時 一縣三世諸佛依般若波羅蜜多故 . 照見

浦

里碳无里碳故无有恐怖遠離一切顛倒夢 所得故菩提薩強依般若波羅蜜多故心 想究竟沒解三世諸佛依般若波羅蜜多故 上无老死盡无告集滅道无智之无得以无 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至 不增不减是故空中无色无受想行識无眼 是舎利子是諸法空相不生不滅不垢不净 无意識界无无明紀无无明盡乃至无老死 中村

不增不減是故空中无色无受想行識无眼是舍利子是諸法空相不生不减不垢不净 異色色即是空空即是色受想行識亦復 諡皆空度一切告厄舎利子色不異空空不 亦无老死盡无告集減道无智亦无得以无 无意識界无无明亦无无明盡乃至无老死 耳鼻舌身意无色聲香味觸法无眼界乃至 得故菩提薩塘依般若波 礙 自在菩薩行深般若波羅蜜多時照見 詞般若波羅蜜多心 无里殿故无有恐怖達 解 諸佛依般若波羅蜜多 经 難一切顛倒

耳鼻舌身愈无色聲香味觸法无眼界乃至不增不減是故空中,无色无受想行識无眼 是舍利子是諸法空相不生不滅不垢不淨 異色色即是空空即是色受想行識上 復如 想究竟沒縣三世諸佛依般若波羅蜜多 里破无里礙故无有恐怖遠離一切顛倒夢所得故菩提薩強依般若波羅蜜多故心无 · 无老死盡无告集滅道无智 · 无得以无 无意識界无无明么无无明盡乃至无老死 蘊皆空度一切岩厄舎利子色不異空空 觀自在甚薩行深般若波羅塞多 時照見 苚

念音佛音延 不暮法南命 離念僧無十 心觀縁佛句 世常与觀 音 樂佛音 羅蜜多故心无 念我有 经 幸田 念净因 従朝与 心念佛

摩訶般若波羅蜜多心經

勾玉作り

石をけずって古代のアクセサリー "勾玉"を作ってみませんか

10月5日(日) 午前9:30~11:45

場所 公民館工作室

定員 40名(参加黄無料)

持物 エプロン・手拭きタオル 恥み いわき市生涯学習課 (電話 22-3456)

[高崎二直松本 和美 •

勾玉作り

石をけずって古代のアクセサリー *勾 玉*を作ってみませんか

日時 10月5日(日) 午前 9:30~11:45

公民館工作室

40名(参加費無料) エプロン、手拭きタオル 特与物

いわき市生涯学習課 (電話 22-3456)

[泉江山]安藤美川为。

勾玉作り

石をけずって古代のアクセサリー

10月5日(日)

公民館 工作室

午前9:30~11:45

40名(参加貴無料)

エプロン、手拭きタオル いわき市 生涯学習課

(電話 22-3456)

茂木

紗弥

"勾玉"を作ってみませんか

問い合わせ先梅里村総務課(セハーニ三四 ★交通状況により時間が前後する場合や 荒天により休業する場合があります 品目を販売します。ぜひお立ち寄りください 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、約四つ やまびこ広場 十月三日から十二月二十六日までの 每週金曜日、午後一時~三時 村に 移 動スーパーがやってくる

[高崎·歌·新 保

路子。 新保 昭子

梅里

梅里村に 販売します。 ぜひお立ち寄りください。 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、約四の品目を ★ 交通状況により時間が前後する場合や 十月三日から十二月二十六日までの 問、合わせ先 梅里村総務課(七八一二三四) やまびこ広場 每週金曜日、午後一時~三時 荒天により体業する場合があります 移動スーパーがやってくる!

Y S 866.1 柳瀬佐代子。

所

い合わせ先

梅里村総務課(セハーコニョ四)

問合な先梅里村総務課(七八一一二三四)

柳瀬佐代子

梅里

松本 和美

安藤美川ゐ

明ふるな先梅里村総務課(七八一二三四

い合わせ先梅里村総務課(七八一三三四)

門令之先梅里村総務課(七八一三三四)

梅里 ください。 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、 荒天により体業する場合があります。★交通状況により時間が前後する場合 阶 時 やまびこ広場 毎週金曜日、午後一時~三時十月三日から十二月二十六日までの 村に 移動スーパーがやってくる

13号 MM 中山 1 10 A

荒天により体業する場合があります。 4 交通状況により時間が前後する場合や 約四のの品目を販売します。ぜひお立ち寄り生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、 一村に移動スーパーがやってくる! やまびこ広場 十月三日から十二月二十六日までの 每週金曜日、午後一時~三

一時 つくる。周本 主 粮。

岡本 美穂

石をけずって古代のアクセサリー "勾玉"を作ってみませんか

勾玉作り

10月5日(日) 午前 9:30 ~ 11:45

場所 公民館工作室

40名(参加費無料)

持物エプロン、手拭きなル

恥か いわき市 生涯学習課 (電話 22-3456)

光輝 村井由佳 。

勾玉作り

石をけずって 古代のアクセサリー "勾玉"を作ってみませんか

公民館 工作室

ቊみ いわき市生涯学習課

40名(参加費無料)

エプロン・手拭きタオル

日時 10月5日(日) 午前9:30~11:45

由佳

勾玉作り

[香桜□□||茂木 粉弥 □

石をけずって古代のアクセサリー "勾玉"を作ってみませんか

午前9:30~11:45 場所 公民館 工作室

40名(参加貴無料)

較み いわき市生涯学習課 (電話 22-3456)

(電話 22-3456) 张见 · () () 施 直子 /·

10月5日(日)

エプロン、手拭きタオル

二宮佐和子

1久我至1二名祥荣。

中山まゆみ

くでない。 約四○○品目を販売します。ぜひお立ち寄り 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、 畤 梅里村に移動るかがでてくるり ★ 交通状況により時間が前後する場合や やまびこ広場 十月三日から十二月二十六日まで 每週金曜日、午後一時~三時

加七二井上 教计。

★交通状況により時間が前後する場合や 荒天により休業する場合があります。

梅里村に移動るかがやってくる 約四る品目を販売します。ぜひお立ち寄りください。 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など 所やまびこ広場 每週金曜日、午後一時~三時 十月三日から十二月二十六日までの

直子 猪

伊藤 直子

勾玉作り 勾玉作り

石をけずって古代のアクセサリー "勾玉を作ってみませんか "勾玉"を作ってみませんか

日時 10月5日(日) 午前9:30~11:45

場所 公民館 工作室

定員 40名(参加貴無料) エプロン、手拭きタオル

いわき市 生涯学習課 (電話 22-3456)

激訪 "佐川美智代5"

佐川美智代

石をけずって古代のアクセナリー

日時 10月5日(日) 午前9:30~11:45

場所 公民館工作室

定員 40名(参加費無料) 持物 エプロン、手拭きタオル

♥ムみ V'わき市生涯学習課 (電話22-3456)

小里惠美子

梨沙 井上

梅里村に移動スーパーがやてくる Ρή 時 生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、 やまびこ広場

荒天により体兼する場合があります。★ 交通状況により時間が前後する場合や. 約四の品目を販売します。ぜひお立ち寄りください。 十月三日から十二月二十六日までの 每週金曜日、午後一時~三時

香籽二日藤原 由意。

藤原

由恵

时時 い合わせ先 やまびこ広場 十月三日から十二月二十六日までの 每週金曜日、午後一時~三時 荒天により休業する場合があります。★交通状況により時間が前後する場合や 梅里村総務課(セハーニニロ

11 K (水液角 杜子。

> 鹿島 桂子

梅里村に移動スーパーがやってくるし

約四00品目を販売します。せのお立ち寄りください。生鮮食品やお弁当、冷蔵食品、日用品など、

